

選定委員会会議録要旨

第5回市立堺病院事業者選定委員会会議録要旨

- 開催日時 : 平成23年11月8日 14時～15時35分
- 会場 : 堺市役所高層館20階第一特別会議室
- 出席委員 : 委員長 種子田 護 (社団法人 大阪府病院協会常任理事)
 委員 阿津地 勲 (堺区自治連合協議会 少林寺校区自治連合会会長)
 委員 上田 保 (堺区自治連合協議会 安井校区自治連合会会長)
 委員 岡原 猛 (社団法人 堺市医師会副会長)
 委員 岡本 邦彦 (堺区域自治連合協議会会長)
 委員 神部 智司 (大阪大谷大学教育福祉学部准教授)
 委員 北村惣一郎 (堺市医療監)
 委員 出未 明彦 (市立堺病院事務局長)
 委員 橋本 卓也 (大阪保健医療大学講師)
 委員 早川 泰史 (堺市健康福祉局長)
 委員 樋上 忍 (堺市域保健医療協議会会長)
 委員 蓑田 正豪 (社団法人 堺市医師会理事)
 委員 本川 清子 (公認会計士)
- 欠席委員 : なし
- 事務局 : 市立堺病院 新病院建設室長 森 嘉司
 市立堺病院 新病院建設室参事 米村 かおる 他
- 案件名 : (1) プレゼンテーション等について
 (2) 総合評価について
 (3) 選定結果の公表について
 (4) 今後のスケジュールについて

発言者	内 容
事務局	<p>開会</p> <p>第5回市立堺病院後利用事業者選定委員会を開催する。</p> <p>定足数報告</p> <p>委員会の公開・非公開について</p> <p>本日の案件は、前回の選定委員会と同様で、法人に関する情報であり、堺市情報公開条例及び堺市審議会等の会議の公開に関する基準に基づき、審議内容に応募団体が保有するノウハウ等が含まれており、公にすることにより、法人の権利、競争上の地位などの利益に害すると認められるとともに、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれが生じるので、すべて非公開と考える。</p>
事務局	

委員長	ただ今の説明について、何か意見はあるか。
委員	<意見なし>
委員長	本日の案件は、すべて非公開とする。
	委員等に応募者からの接触等の有無を確認
委員	<接触なし>
	(1) プレゼンテーション等について
事務局	A法人からプレゼンテーションを受けた後、質疑応答時間を予定している。その後、全体を通じての意見交換と採決を行っていただきたいと考える。
委員長	この件について、意見等はないか。
委員	<意見なし>
委員長	それでは、A法人に入室していただく。
	A法人入室
事務局	プレゼンテーションをお願いします。
	A法人のプレゼンテーション（30分間 パワーポイントを活用して説明）
	質疑応答
委員長	引き続き、質疑応答に入る。質問のある委員はおられるか。
	<委員からの質疑>
早川委員	「患者満足度調査」結果の内容と改善策について教えてほしい。
A法人	5、6年前から、毎年12月に実施している。結果としては、職員の態度や言葉遣いなどについての満足度は、最初はそれほど高くなかったが、接遇教育や講演会を実施しているほか新入職員研修を実施し、サービス向上を図っており、効果もでている。
橋本委員	回復期リハビリテーション、慢性期の医療を担っており、後送病床について堺病院などとの連携を今後もスムーズに行う予定か。

	また、部署としては、地域連携部か。
A法人	今後も継続していくとともに、さらに連携を深める。 担当部署は、そのとおりである。
早川委員	大内科体制での診療のメリットは何か。
A法人	専門性を維持しながら、一人の患者を様々な角度から色々な医師で協力して診る体制をとれる点などがあると考えている。
樋上委員	救急医療を支えるためには、研修医の確保が不可欠だが、研修医制度が始まってから以降毎年確保しているのか。
A法人	実働したのは、平成20年度以降で、毎年数名確保している。
樋上委員	救急の耳鼻科の疾患については、非常勤の当直医師で対応しているのか。
A法人	めまいなどの症状に対応している。
樋上委員	緊急手術の内訳はどうなっているか。
A法人	急性期部門が最も多い状況である。
樋上委員	サテライト病院の病床数はどれくらいか。また、今後病床数の調整をするのか。
A法人	300床である。病床数の調整は検討中である。
出未委員	産科、泌尿器科を再開予定だが、大学病院等との連携の見通しはどうか。また、医師など職員体制や看護師など人材育成についての考え方はどうか。
A法人	泌尿器科については、確約をとっている。産科については、看護学校があるので、連携していく。医師などは、後期研修医を多数確保しており、また看護師などの人材育成は、病院や法人全体でサポートしながら育成している。
本川委員	社会医療法人への移行に向けての現状はどうなっているのか。また、資金調達について移転費用のほとんどを融資資金で賄っている点について教えてほしい。

A法人	社会医療法人移行については、できるだけ近いうちに要件のクリアを考えている。また、融資資金については、以前から金融機関と調整している。
橋本委員	社会医療法人移行に伴い福祉部門との連携など地元住民に貢献するのか。
A法人	地元の皆さんのトータルなサービスを考えてきた。急性期から療養期までの科目があり、次に社会福祉系の内容も考えている。
橋本委員	救急外来患者や救急搬送からの入院患者の中でも小児科の患者が多いが、小児科の病床数は少なくないか。
A法人	他の病棟も活用しながら、運用している。
委員長	職員数の中でも、事務職が多いが病棟クランクか。 また、外来患者の動向をみると徐々に紹介率が増えているが、病院の方針なのか。
A法人	病棟クランクである。 また、紹介率については、専門性を構築したことが、こういう結果となった。
阿津地委員	新病院移転後、できるだけ早期に開院してほしいが、どのくらいの期間で開院できるのか。
A法人	関連施設の若干の改装も必要なので、新病院移転後できるだけ早く、間を空けずに開院したいと考えている。
委員長	他に質疑がないようであれば、以上でプレゼンテーション及び質疑応答を終了する。 法人関係者は退室願う。
	A法人退室
	(2) 総合評価について
委員長	ただ今の質疑応答の結果を踏まえ、議論を進めたいと考えるが、何か意見はあるか。
北村委員	医療学院も移転してくるということだが、それは、明確に決まっているのか。また、病院内に併設される予定の医療専門学院の学生数はどれくらいなのか。

事務局	看護科、准看護科、理学療法士、診療放射線技師などで、学生数は、590名です。
樋上委員	A法人のマイクロサージャリーは大阪府下でも有名である。ぜひ継続してほしい。また、リュウマチセンターについては、大和川以南では、現在1施設しかなく、患者も多いことから、地域医療の観点からも、是非リュウマチセンターのような施設をつくってほしい。
早川委員	現在A法人の経営する病院全体が移転してくるが、かかりつけの患者さんが多数おられると聞いており、移転に伴い次の医療へつなぐため、患者さんに丁寧な説明をお願いしたい。
岡原委員	現在の場所からこちらへ移転するに際して、周辺地域医療機関との連携を深めてほしい。
委員長	ただ今の議論を踏まえ、A法人を事業予定者にするということについて、記名による投票を行うが、その前に事務局から説明はあるか。
事務局	投票用紙を配るので、氏名と賛成の方は「○」、反対の方は「×」を記入していただく。その後事務局で回収し、開票並びに結果発表を行う。
	<投票用紙を配布>
委員	<投票>
事務局	<投票用紙を回収し、開票する>
委員長	事務局より結果の発表をお願いします。
事務局	13名全員賛成です。
委員長	ただ今の結果発表のとおり、全員賛成によりA法人を事業予定者と選定した。
	(3) 選定結果の公表について
事務局	市立堺病院の事業予定者の選定について(案)について説明する。
委員長	何か意見等はないか。
出未委員	公表内容については、後日、委員全員に確認をとるのか。

事務局	事務局で（案）を作成し、内容については、委員長一任でお願いしたい。
委員	異議なし
委員長	事務局と内容を取りまとめ、後日確認願います。
事務局	<p>（４）今後のスケジュールについて</p> <p>今後のスケジュールについて説明する。</p>
委員長	以上で閉会する。
	閉会